



好奇心旺盛なスタッフがめぐる！
ASA探検隊

たかっちゃんの紙芝居だよ～♪
～夢・礼節伝えて2年半～

拍子木の乾いた音が梅美台中央公園に響きます。カ～ン、カ～ン♪「紙芝居の始まりだよ～」。

今月のASA探検隊は、木津川市で米穀店120年、そして文具店を55年の悠々たる歴史を今に継承する塚田高司さん(57)を直撃取材。

学生時代、SSW(スチューデント オブ ソーシャル・ワーカー)の組織と出会い、学生による社会福祉として、人形劇やゲームを通じて、日本各地の子供たちの心に触れた。人生の区切りについて再びそんなことをしてみたい、と日々の仕事の傍ら考えることが度々あったという。

「当初は、この“子供博物館”で週一度、紙芝居をしていたのですが、子供時代に記憶している紙芝居屋さんのことを思い出して、青空の下で紙芝居を始めたんですよ」と懐かしい子供の頃を思い出すように、やさしい笑顔がこぼれます。



●拍子木が紙芝居の始まりを告げる…

ボランティア精神で紙芝居を始めた2007年、塚田さんの心を大きく揺さぶった出会いがあった。新聞記事で塚田さんのことを知ったプロ紙芝居師の杉浦さんのアドバイスは、プロとして子供たちに高次元で関わってほしいというものだった。

「群れる」「待つ」「見る」「買う」「食べる」の5つの紙芝居の醍醐味を子供たちにぜひ伝えてほしいと説かれ、半年にも及んで



●人気の出し物「キンちゃん」

悩み続けた。

「そんなことやめといて！ 仕事どうするの？」と家族の反応が塚田さんの悩みに拍車をかけた。

「やっぱり、自分が紙芝居で勇気付けられた思い出がプロとしてやっていく決断をさせてくれたんでしょね」と、今ではすっかり家族の応援や協力も得て、思い一筋に突き進んでいる。

「でも、スタート直後はとても厳しかったですね。紙芝居の前に並んでくれる子供たちはちらほらと数名程度。しばらくこんな日が続きました。保護者の方々にもちよつと怪しげに眺められて辛かったですが、今となっては本当に始めてよかったと思っていますよ」と晴れやかな塚田さんが印象的。



お話をうかがった“子供博物館”は昭和の香りがぷんぷん。木製のレジスター、五つ玉そろ盤や天枰棒、懐かしいセルロイドの筆箱に古いポスターや文具がいっぱい。「子供たちの話のきっかけにでもなってくれば…」と、8帖一間を“子供博物館”と銘打った。今も、週一回、日曜日の10時～12時、子供たちに無料で開放して、紙芝居以外にも熱い心がそそがれている。



●クイズでお楽しみ！ 元気に声でハ～イ！

さて、本日の紙芝居のスケジュール時刻が迫ってきた。午後4時、梅美台中央公園での開催です。

日曜日を除いて毎日、午後4時前後に曜日ごとに巡回する塚田さん。(雨天中止) 週ごとに、紙芝居の話やクイズを準備して、子供たちに出会えるのを楽しみに、バイクを走らせる…。

早くから待っていた小学生4年生の男子は、「おっちゃんの紙芝居、とつとも楽しみ」と終わった後も公園で野球を楽しむという。

「こんにちは～」と大きな声で、集まった子供たちに優しい言葉を投げかけ、乱雑に置かれた自転車の整理を呼びかけて、お待ちかねの紙芝居の始まり、始まり～。

出しものは、人気の「キンちゃん」と冒険活劇「天を駆ける」の2本立て。場面にあわせた塚田さんの臨場感たつぷりの話し振りに、子供たちの目は真剣そのもの。一話ごとにクライマックスが用意され、お腹の底からふりしぼった声が広場に響きます。

もうひとつのお楽しみが、塚田さんオリジナルのクイズ。クイズに正解してお目当ての「飴券」をもらうのに、子供たちは「ハイ！ハイ！ハイ！」と懸命だ。

およそ30分、クイズでもらった「飴券」を交換する長い行列の顔は、みんな笑顔。そんな嬉しそうなお子たちを見ながら、私も紙芝居を見た子供の頃を思い出した。

今年正月、紙芝居先で、男児が辛い話を打ち明けた。世相の寂しさと子供自身が辛く寂しい思いしていることに、愛しさを感じながら、打ち明けてくれたことが嬉しかったという。

「夢をもち、礼節を学んで、思いっきり遊んでほしい！ さみしい気持ちも吹っ飛ばしてほしい！」という塚田さんの熱い気持ちが、青空の街角で拍子木とともにきょうも心地よい音色を響かせています♪



●子供たちと対等に付き合っていきたい…



巡回紙芝居スケジュール

可能な限り出張紙芝居に参ります!!

曜日	ところ(会場)	時間
月	州見台あかね公園	PM4:00～
火	梅美台中央公園	PM4:00～
水	木津川台川舟公園	PM4:00～
木	相楽小学校前公園	PM4:00～
金	兜台トンネル公園	PM4:00～
土	木津瓦谷石公園	PM4:00～

NPO法人(府活 第2-270号)
紙芝居文化協会会員

“たかっちゃんの紙芝居”

塚田高司
Tsukada Takashi

〒619-0217
京都府木津川市木津町西垣外23番地
TEL.0774-72-2401
FAX.0774-72-1101

ASA木津のまかない料理

ASAスタッフ 香川



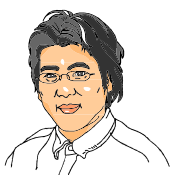
むしむし、暑い夏日にぴったり！

“納豆の冷やしうどん”～さっぱり梅風味～

- 材料一人分** ・小粒納豆 1パック ・細うどん(ゆで) 1袋
・梅肉 大1 ・青じそ 2枚 ・いりごま、きざみのり 適量
- 作り方** ・市販のめんつゆ(ストレート)

- ①納豆はついてるタレ、からしと少しの梅肉を入れ、よく混ぜておきます。
- ②細うどんは一度湯通し、水洗いしてザルに揚げておきます。水がきれいなら、冷蔵庫で冷やします。
- ③うどんを器に盛り、①の納豆をのせてから、半分に切った青じそと梅肉をトッピング。
- ④まわりにきざみのり、細く切った青じそ、いりごまを散らし、めんつゆを最後にかけていただきます♪

職場体験へようこそ♪



6月11日、12日の2日間にわたり、木津第二中学校2年生の藤原慎也君が職場体験にやってきました。両日も午前10時～午後4時の“勤務”で、新聞販売店の仕事について説明を受けた後、現場へ。メインの仕事は夕刊配達で、午前中に配達先の下見をすませ、午後2時より130部の配達をミス無くやり遂げてくれました。配達では新聞のインクで手が真っ黒になり、その手で触った顔も真っ黒。でもその表情は達成感に満ちあふれていました。

感想を聞いてみると、「疲れたけど楽しかった。新聞を配達するだけでなく、チラシを入れたり、集金に行ったりといろんな仕事があることに驚きました」と、もう少し折り込み作業を手伝ってほしい様子で語ってくれました。お疲れ様でした。

プロ野球バスツアーご参加ありがとうございました♪



逸見



こんにちは、逸見です。先月20日に阪神応援バスツアーに読者の皆様と行ってきました。ツアーは39名の皆様とスタッフは私と横井、交流戦最終カードの“楽天”戦でした。気になる天候は曇り。小雨のバラつく生憎の感じでしたが、観客は今シーズン最高の48,000人超、盛り上がりました。試合の方はホームランを2本も観られましたがいずれも楽天で2-5の完敗でした。それでも熱い応援、あの甲子園の雰囲気を感じたので、読者の皆様にも満足して頂けたのではないのでしょうか。ご参加ありがとうございました。

お散歩で会いましょう!



木本

シアワセのおすそわけ

木津川市加茂町。以前「ASA探検隊」で取材した“クローバー牧場”さんで出会ったウシ君がごらんのような頭に素敵なハートマークをつけてシアワセを運んで来てくれました!